

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公表番号】特表 2006-501479 (P2006-501479A)  
 【公表日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-002  
 【出願番号】特願 2004-541914 (P2004-541914)  
 【国際特許分類】

**G 0 1 N 33/53 (2006.01)**  
**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 19/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/15 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/50 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/543 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/577 (2006.01)**  
**C 0 7 K 16/18 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 N 33/53 D  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 19/02  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 G 0 1 N 33/15 Z  
 G 0 1 N 33/50 Z  
 G 0 1 N 33/543 5 4 5 Z  
 G 0 1 N 33/577 B  
 C 0 7 K 16/18 Z N A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 9 月 4 日 (2006.9.4)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変形性関節炎または関節リウマチを患う患者における I 型および II 型コラーゲンの相対的な切断を検出する方法であって、C 2 C ネオエピトープに対する C 1、2 C ネオエピトープの比を決定するステップを含む方法。

【請求項 2】

前記比の結果が高いことにより、非全身性変形性関節炎のその後の進行が大きいことが予期される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記変形性関節炎が膝の変形性関節炎である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記比の結果が低いことにより、関節リウマチのその後の進行が大きいことが予期される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

生物学的サンプルにおける C 2 C ネオエピトープに対する C 1、2 C ネオエピトープの比を決定する方法であって、

- a) 前記 C 2 C ネオエピトープを、これに結合する抗体と接触させるステップと、
- b) ステップ a) における前記抗体の前記 C 2 C ネオエピトープへの結合を測定するステップと、
- c) 前記 C 1、2 C ネオエピトープを、これに結合する抗体と接触させるステップと、
- d) ステップ c) における前記抗体の前記 C 1、2 C ネオエピトープへの結合を測定するステップと、
- e) ステップ b) および d) における結合の比を決定するステップとを含む方法。

【請求項 6】

ステップ a) における前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

ステップ c) における前記抗体が、ポリクローナルまたはモノクローナル抗体である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

ステップ b) および d) における前記結合が、酵素に結合体化された標識された抗体を用いて測定される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 C 2 C ネオエピトープが以下のペプチド配列を有する、請求項 5 に記載の方法。

C - G - G - E - G - P - P (OH) - G - P - Q - G (COL 2 - 3 / 4 C<sub>long mon</sub> ペプチド) (配列番号 1)

【請求項 10】

前記 C 1、2 C ネオエピトープが以下のペプチド配列を有する、請求項 5 に記載の方法。

C - G - P - P (OH) - G - P - Q - G (COL 2 - 3 / 4 C<sub>short</sub> ペプチド) (配列番号 2)